

二〇二二年 令和四年

謹賀新年

「年頭のご挨拶
2022」の動画は
コチラ▶



新年 明けましておめでとうございます。
令和四年の新春を健やかに迎えのことで、心からお慶び申し上げます。

また平素より、本市議会並びに市政へ市民皆様の格別の御支援と御協力を賜り、より活発な議会活動を推進できたことに対しまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、令和二年より延期されておりました東京オリンピック・パラリンピックも華やかに開催され、本市出身の屋比久翔平選手が銅メダルを獲得するなどの活躍を見ることができました。またプロ野球界においても宮城大弥選手が新人王に輝くなど、若い選手の活躍が、子どもたちへ大きな夢と希望を与えてくれました。

二元代表制の一翼を担う、私ども市議会においては、議会改革の一環として、インターネット上にて市議会で審査した議案等を報告いたしました。また市民の声を市政に反映させること等を目的に、アンケートにより市民の皆さまから頂いた五十六件の貴重な御意見は市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、政策立案や市長への政策提言につなげております。

本年は市制施行六十周年の節目を迎えると同時に、市議会議員選挙の年でもございます。当市議会と致しましても、市民の代表機関として、謙虚に丁寧な十万人余市民の皆さまの負託に応え、市政の発展のため尽くしていく決意を新たにしております。市民の皆さまのなご御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本市の益々の発展と、本年が皆さまにとりまして、幸せで実りの多い希望に満ちた一年となりますよう衷心より祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

令和四年 新春

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて本年は、沖縄県が本土復帰五十周年を迎える大きな節目の年となっており、本市においては七月一日に市制施行から六十周年を迎えます。

このような記念すべき年を迎えるにあたり、活力と活気に満ちた豊かで、安心して住み続けられる「宜野湾がいちばん!」と、すべての市民が感じることができるまちづくりを目指してまいります。

本市の最大の課題である普天間飛行場の返還につきましては、絶対に固定化はあってはならないとの危機感を持ち、一日も早い閉鎖・返還並びに返還までの間の危険性の除去及び負担軽減の確実な実現を求めています。

キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地につきましては、『沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と、水・みどり・文化が調和した住環境がつながるまち』として、琉球大学医学部、琉球大学病院の移設を含め、今後返還される基地跡地利用の先行モデル地区にふさわしいまちづくりを進めてまいります。また、市民の健康増進やまちづくりなどについて琉球大学と連携し、沖縄健康医療拠点の形成に係る取り組みを進めてまいります。

新しい生活様式での日常が続いておりますが、今後ともすべての市民が安心して住み続けられるまちを目指し、職員一丸となって邁進してまいりますので、市政運営に対するご理解とご協力を賜りますとともに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

令和四年 新春



宜野湾市議会議長
上地 安之



宜野湾市長
松川 正則